

まちづくりの芽(長期的取り組み)

ファイル1 通過交通

【現況・課題と解決の方向性(案)】

通過交通による危険、騒音、ポイ捨てに長年悩まされている粟野地区。抜本的な対策、例えば山県ICと畜産センターをつなぐアクセス道路整備は、観光面からも岐阜市に有益と思われます。

◀散歩も危険な狭隘道路を飛ばす車両。国道 256 号線の高架が正面上部に見えるが、三輪、山県市～金華橋、忠節橋方面の通過車両が時間的に短縮されるため、国道ではなく当該道路を利用する。

◀申し訳程度の歩行者用の白線内を歩いても、カーブする場所では、車が向かってくる。

◀粟野台の団地からの小学生の通学路は別ルートが定められているが、日常生活では子どもたちも横断せざるを得ない。また、中学校へは、ラッシュ時にこの四叉路を横断せざるを得ない。小・中学生から寄せられたまちづくりアンケートにも、危険性の指摘がある。

▼四叉路から少し西の道路に設置された「歩行者注意」の看板が、倒れ掛かっている。車が接触したと考えられる。

【経緯】自治会連合会から市長要望されている事案(平成 30 年 10 月 17 日・北部コミセンにて)



▲佐賀南橋を境に上流部は、散策路が整備され、水辺にジュズダマやアヤメ類が見られる。



▲一方、下流の岐阜市は、水辺に近づくこともできない。まちづくりの教訓としたい。



▲眉山を背景に黒木橋を走るぐるとバスが川面に映る。堤には彼岸花が咲き誇る。

公園がほとんどないため、鳥羽川の本流に、都市居住の環境を向上させるような公園敷の整備が望まれます。



▲もとより防災が最重要課題である一方、都市河川として環境向上が望まれる。水辺に近づくこともできず、眺めるだけのいびつな環境は、むしろストレスを生み、愛着がわきにくい。



▲常磐地区「戸石川水辺の楽校」では、子供たちが川遊びを体験したり、地域の交流の場として地域が活用している。

【現況・課題と解決の方向性(案)】

51年水害を機に鳥羽川改修工事が行われ水害被害の心配は軽減されました。一方、親水性は皆無と言ってよいでしょう。工事から数十年を経過した今も、市内随一の蛍の名所は未だ復活していませんが近年、飛翔の兆しが見られます。

鳥羽川からの水路の新川は、山県市境の佐賀南橋をはさんで、上流はコミュニティ水路的な整備がされ、遊歩道が楽しめるものの、下流の岐阜市は草に覆われ踏み込むこともできません。平成15年当時、県の公共工事として改修された模様。

一方、鳥羽川の本川についての活用が地域全体として強く求められてきました。流量を損なわず、治水を妨げないような設計のもとに、都市河川としてのアーバンデザインを高め、居住環境を向上させ、地域ぐるみで有効利用できる公園敷整備が検討できないものでしょうか。

まずは、岩野田北、岩野田小及び岩野田中学から最短距離の地点に、親水広場(常磐地区の水辺の楽校のような整備目的を参考)を整備し、環境学習や公園として整備の検討について、行政に協働研究を求めたいですね。将来的には、市の魅力向上と健康づくりに資する、長良川からのサイクリング道整備も提案したいところです。

一方、地域では、アダプト・プログラムを活用して、美化活動、野趣あふれる草花の植栽活動を実施するとともに、環境学習を主催し、ホタル情報を発信することも検討することが必要と思われます。

ファイル3 地域発見

【現況・課題と解決の方向性(案)】

地域のことを最も知る地域が、迅速かつ柔軟に、自ら行動することが最も効率的・効果的なまちづくりにつながります。それには、情報の発信・共有が基本となります。広報の重要性がアンケートでも提起されています。

次に、まちづくりは、地域にどんな課題があるかを発見することから始まります。困ったことを放置しておいても何も解決しません。行政でも40万都市の隅々まで、市民の多様な要求に全て応えることは、財政的にも労力的にも不可能です。

地域それぞれにある「まちづくりの芽」は、困りごと、課題だけではありません。地域の文化や歴史も、まちづくりの資源です。岐阜市は多くの村が合併して今日に至っています。各地域にはそれぞれの歴史と文化があります。そんな財産を再発見することも立派なまちづくりの活動です。

そんなまちづくりの芽を、その場限りで終わらせないよう、協議会やアンケート、サロンなどで提起された事案について、まちづくりの芽ファイルとして蓄積することが大切です。

また、地域の課題を発見したら、写真に撮ったり、メモしたりして、情報を持ち寄りましょう。それを、「まちづくりの芽ファイル」としてまとめて、それについてみんなで話し合しましょう。

困ったことを話し合う、地域を学ぶ・・・まちづくりの芽を発見し、解決方法や活用を探ることは、地域の特性を再認識し、地域ならではのまちづくりを進めることにつながります。

● 広報紙やホームページを まず読もう



情報の発信と蓄積

まちづくりのアンケートでは、常に情報の発信・共有の大切さが提起されます。地域の情報は、まちづくりの基本と言えるでしょう。ホームページは必要ないという意見もありますが、これだけの情報量を紙で発行するのは、経費面からも効率的ではありません。また、発信するだけでなく、情報の蓄積・継承・検索しやすいのも利点です。

● 課題を発見！

アンケートでは、写真や動画で課題を共有する活動が提起されました。危険な箇所やポイ捨てなど、気づいた点があれば、写真や地図をつけて分かりやすく提起すると話し合いですね。



岩野田北には多くの野仏が見られます

写真は粟野西の馬頭観音。鳥羽川が今より西へ弓形に流れていた頃、馬が落ちて死んだのを悲しみ、馬喰が立てたと言われます。「埋もれゆく路傍文化」(岐阜ライオンズクラブ発刊)より



● 資源を発見！

ファイル4 住民参加

【現況・課題と解決の方向性(案)】

今回のアンケートでも、自治会や各種団体の役員、有志のボランティアなど、一部に活動の負担がかかっているとの指摘があります。ともするとまちづくりには受け身になりがちになり、動員されて仕方なく参加する傾向に陥りがちです。

地域の環境改善やサービスの受益者として、また地域自治の一員として、広く地域活動への参加が望まれます。

一方、高齢化や子育て、仕事などそれぞれの事情によって、参加できる時間や活動内容に、制約が生ずることは否定できません。

一人ひとりが、個人のレベルで参加しやすい地域活動やボランティア活動について、理解を深め合い、日常習慣として浸透させることも必要でしょう。

自分でできる活動を各自が選択し、参加する「この指とまれ方式」のまちづくり活動にはどんなものがあるのでしょうか。具体的にいくつか例示してみましょう。

アンケートに寄せられた子どもたちが描く都会的なまちの実現には、都市環境のハードの整備とともに、地域に関心を持ち、より良いまちにしようというみんなの思いが欠かせません。地域の居住環境を向上させ、住民力・地域力を高めることとなります。一人ひとりが、かかわりを持ち、社会貢献を実感できるような活動の日常習慣化…そんなまちづくりの輪を10年間かけてでも、地域に広げることが大切ではないでしょうか。

ステッカーなどグッズの活用



趣味から始める“まちづくり塾”開講・・・？

- ・花飾り講座
- ・故郷の歴史講座
- ・鳥羽川講座
- などなど



●道路は、最も身近な公共空間です。

覚えていますか…？



家の前を掃き清め、打ち水し、花を飾る…古くからの習慣として美しい日本のまちを演出してきました。まちづくり”という言葉が使われる前から、みんながまちづくりに参加・実践をしていました。無理なく、日常習慣化できれば、これも立派なまちづくりです。

●ながら・まちづくり隊員募集?!

●ウォーキングゴミ拾い隊

毎日の散歩のついでにゴミ拾い…今回のアンケートでも提案の声が上がりました。

●リンリン啓発隊

他の地区で、自転車のかごに防犯などの啓発ステッカーを掲示する取り組みがあります。

●わんわんパトロール隊

他の地区で、散歩中の犬にパトロール中のバシダナ・リードなどを使う取り組みがあります。



3 地区の統計データ

【公園面積】

公園名	所在地	計画決定面積 (ha)	開設年月日	開設面積 (㎡)
岩野田公園	栗野西 5 丁目 297	0.11	昭和 49 年 12 月 25 日	1,116
栗野公園	栗野東 5 丁目 406	0.00	昭和 33 年 4 月 1 日	643
栗野北公園	栗野東 4 丁目 424	0.00	昭和 52 年 10 月 15 日	567
栗野台中央公園	栗野台 307-244	0.00	平成 15 年 3 月 31 日	1,055
栗野台南公園	栗野台 307-222	0.00	平成 15 年 3 月 31 日	992
栗野台北公園	栗野台 307-3	0.00	平成 15 年 3 月 31 日	1,266
合計				5,639

【飼い犬数】

岩野田北の飼い犬数	477 頭(1 世帯当たり 0.15 頭)	(11 月 4 日現在)
市全体の飼い犬数	23,904 頭(1 世帯当たり 0.13 頭)	(11 月 4 日現在)

※世帯数は令和 2 年 11 月 1 日現在

【特定検診受診率】 国保の加入者における特定検診受診率

(平成31年)

	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	全 体
岩野田北	20.9%	21.4%	37.0%	40.1%	48.5%	38.0%
市平均	21.0%	27.5%	37.0%	44.4%	49.1%	39%

※一般的な傾向

- ・どの年代も女性の受診率が高い
- ・40 代、50 代の受診率が低い
- ・岐阜市は全国平均よりやや高い(H30 年度 全国平均 37.9%)

【人口推移、高齢化率、自治会加入率は 3～4 ページ参照】